

# 激動の経営

## カスタムに強み

モノづくりの集積地とあつて、愛知県には独自の技術を強みとする個性的な機械メーカーが多い。愛知県西尾市を拠点とするキラ・コーポレーション

## キラ・コーポレーション①

は、自動車関連を主要顧客に持つ工作機械メーカー。主力とする30番、40番主軸のマシニングセンター（MC）をラインアップするものの、標準仕様での販売は少なく、顧客仕様にカスタマイズする顧客満足度の高い機械づくりが持ち味だ。

創業は1927年（昭2）。創業者の大竹一二が船用エンジンの製造を手がけたことに始まる。三河湾に面し、漁業が盛んだった土地柄を反映したといわれている。2022

## ボール盤からMCへ



年3月に4代目社長に就任した大竹良彦は、創業者の一二について「世のため、人のためにと考え、動く人だった」と聞く。この一二の精神は「お客様に選ばれ喜ばれる商品・サービスを提供する」という経営理念に受け継がれている。

### 増産支える「絆」

1944年の会社設立から10年余りが経過した56年、最初の転機が訪れた。卓上ボール盤の製造に乗り出したところ、高度成長期の波に乗って生産量を拡大。最盛期には月産3500台に上り、ボール盤

顧客に喜ばれ選ばれる商品・サービスの提供という創業の精神を受け継ぐ4代目の大竹社長

## 地域・顧客とともに歩む

でトップシェアを占めたと今に伝わるほど。機械メーカーとしての基盤を固めたターニングポイントとなった。

ボール盤事業の拡大では、地域や取引先との絆が大きな力になった。地域の協力が会社で組織する協力が会が結成され、増産を支えた。工場から出荷されたボール盤は、全国に巡らせた販売代理店網が販

販を担った。後に協力は解散したもの、当時の販売代理店の中の4社とは現在も取引が続いている。

### 変化読み柔軟に

2024年に会社設

立80周年の節目を迎える。事業の移り変わりを振り返り、良彦は「時代に合わせて変化を続けてきた結果」と

「地域や顧客に支えられてきたおかげ」と感謝の思いを強くする。市場ニーズの変化とともに主力製品はボール盤から1981年に製造開始したMCに移り、現在に至る。モノづくりの高度化に合わせ、ミッシング、ス

テアリングなど車部品で培った切削加工自動化ラインの提案、難削材の加工など顧客の課題解決を提案するソリューションビジネスも推進。ビジネスモデル

の革新に挑んでいる。現在の主戦場とする自動車業界は電気自動車（EV）化が加速。機械メーカーも、これまでに対応が求められていたが、良彦は状況を冷静に見つめる。時代の変化に柔軟に対応し、選ばれ続けるべきモノづくりのDNAが真価を発揮する

と信じているからだ。（敬称略）

▽所在地 愛知県西尾市吉良町富好新田中川並39の1▽代表者 大竹良彦氏▽設立 44年2月（昭19）▽資本金 7500万円▽従業員 120人▽売上高 非公表